

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 5 月 7 日 更新

事務事業名		市道改良事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	5 都市基盤の健康				所属部	都市建設部	課長名	原田 和彦
	施 策	24 計画的な道路の整備				所属課	建設課	担当者名	川俣 洋一郎
	施策の柱	66 計画的な道路の整備				所属班	工務班	(内線)	5250
予算科目		会計一般	款 8	項 2	目 3	事業連番 11508	根拠法令	道路法	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	本事業は、地域住民の日常生活の安全性・利便性の向上を図ることを目的とし、合志市内の生活道路を対象として道路拡幅や歩道整備を行う事業である。 現在計画施工中の路線については次のとおりである。 拾八町笹原線改良事業、中央校線改良事業ほか。
【業務の流れ】	計画立案、関係機関協議、測量設計、不動産鑑定、建物等調査、用地交渉、土地売買契約、登記、支払、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払
【主な予算費目】	公有財産購入費、補償補填及び賠償金、工事請負費
【意見や要望】	地域住民及び道路利用者から道路拡幅や歩道整備の要望が寄せられている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 市道のうち、生活道路や通学路の整備を行った。 ●工 事 費：施工延長L=160m、2路線・2件 【基準に達しなかった理由】 道路整備に伴う用地買収において、地権者(3名)の同意が得られなかったため。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 計画立案、関係機関協議、測量設計、不動産鑑定、建物等調査、用地交渉、土地売買契約、登記、支払、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア: 施工延長	m	市道改良事業の年次計画に基づく工事請負費の減
⇒ イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市道(生活道路)		⇒ ア: 計画延長
		⇒ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
市内の道路を安全かつ円滑に通行できるようにする		⇒ ア: 整備率
		⇒ イ:
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
成果指標は工事実施延長による整備率とし、目標値は年次計画に基づく計画延長とした		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	m	98	192	320	160	320	320	320	320
	イ									
② 対象指標	ア	m	6,335	6,335	6,335	6,335	6,335	6,335	6,335	6,335
	イ									
③ 成果指標	ア	%	38	41	55	44	60	65	70	75
	イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円	4,300				40,500	40,500	40,500
		その他	千円				1,500			
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	5,958	59,501	41,100	21,994	21,161	4,500	4,500
		(A) 事業費計	千円	10,258	59,501	41,100	23,494	21,161	45,000	45,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	8	7	8	9	8	8	8
		延べ業務時間	時間	3,565	2,340	3,565	2,870	3,565	3,565	3,565
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	13,939	8,906	14,202	10,452	14,202	14,202	14,202
		トータルコスト(A)+(B)	千円	24,197	68,407	55,302	33,946	35,363	59,202	59,202

事務事業名	市道改良事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	--------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度の事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒ 【理由】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】 事業実施に係る年次計画を策定し、市の財源と調整を行いながら事業を進めていく。用地買収が難航している地権者においては、ご理解・ご協力を得られるよう継続して交渉を行っていく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒ 【理由】 成果は事業が完了しないと発揮できないが、事業完了を目標に道路整備を進めていく。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ⇒ 【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 市道整備においては、庁舎内でも建設課のみ実施しており類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 土木工事標準積算基準書等に基づき設計価格を算定しているため、これ以上のコスト削減は見込めない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 本事業の事務は、工事等の設計積算や工事現場の監督・指導など専門的な知識が必要であるため、正職員以外の職員は担当することができない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】 地域住民のほか、一般の方も利用する公共土木施設（市道）であるため妥当である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】 市道は道路管理者である合志市が管理することとなっており、民間委託等はできない。

3 評価結果の総括（CHECK）

全ての要望に応えることは困難であるが、地域からの要望を抑えることはできないため、必要性や地域バランスをより一層考慮したうえで事業を進めていかなくてはならない。
地域住民をはじめとして、一般通行者の利便性や交通の円滑化が図られることから必要な事業であり、継続は妥当である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 □廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 □事業のやり方改善（有効性改善） □事業のやり方改善（効率性改善） □事業のやり方改善（公平性改善） ☑現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）																						
		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								